

大震災への備え ～熊本地震から～

平成 28 年 4 月、熊本県を中心に発生しました地震において、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

余震が続く中、まだまだ不安な日々を送られていることと存じますが、先ずは余震が治まり、安心して過ごせる日常に戻られることを願っております。

被災地の 1 日でも早い復興をお祈り申し上げます。

今回の地震は活断層のズレが原因であったとの気象庁の報道がされています。私たちの住む柏市は関東ローム層という比較的安定した地層の上に街が形成されており、一見活断層とは無縁のようですが、この関東ローム層自体が比較的厚い地層でその下の地層の状況が十分に解明されていないこともあり、心配ないとは必ずしも言えないことが、専門家から指摘されています。



被災地である熊本県益城町の震災後の様子
～路上に障害物が出来、避難しようとした何人かは崩れた塀の下敷になり亡くなっています。(掲載画像:日経アーキテクチャーより)



また、総務省が発表した今後 30 年間に震度 6 弱の大きな地震が起きる確からしさでは、今回の被災地である熊本市は 8% でした。一方、私たちに近接する千葉市は 70% を超える高い確率となっています。この低い数値が住民に日頃からの心の備えや地震を想定した蓄えを遅らせたともいえ、常態でいかに住民が防災訓練や事前の申し合わせなどを通じ、備えを怠らないようにしておくことが重要かを改めて実感しました。



裏面へ

★今回の地震で報じられた被災地方の様子から・・・

◆余震の恐怖から自宅を離れ、各避難所避難されました。また、町役場等の駐車場、道の駅等の大型集合施設で野宿を余儀なくされる光景がありました。

⇒避難場所を家族で把握しておきましょう

手賀の杜自治会の指定避難所は、「沼南高等学校」です！



◆電気・ガス・水道・携帯電話が使えない状況が続きました

⇒懐中電灯やろうそく、電池やライター、飲料水、簡易コンロとガスポンベの備蓄をお願いします。また各携帯電話会社の伝言サービス、あるいはNTT 災害伝言ダイヤル171の利用方法を家族内で把握しておきましょう

◆今回の震災後も、あっという間にコンビニやスーパーから食料・粉ミルク・オムツが消えました

⇒乳幼児がいる場合の必需品備蓄、持病をお持ちの方の常備薬を、備えておきましょう！

公的な救助は直ぐ来てはくれません。 今回の災害でも「助け合いの心」が重要となりました。震災直後、東北地方や常総市など全国各地から救援物資が運ばれる様子が報道されていましたが、過去に大きな被害に合われた住民からの恩返しとのことでした。

また、**家族同様に隣人を見舞い、助け合うことが当たり前のように出来る街づくり**が重要です。地域の団体である自治会組織の日頃からの活動の充実とそれを支える住民意識の高揚も、大災害に負けない街づくりには欠かせません。

今回の震災だけではありませんが、**避難所生活では、トイレ、更衣室、授乳室等、女性特有のプライバシー問題が発生しています。**これは、避難所生活を想定し訓練していなかったことによるものと思います。

今回の熊本地震からの教訓を活かし各種防災訓練を実行して行きますので、是非、防災訓練にご参加願います。

「手賀の杜自主防災組織」は4月29日の開催された幹事会により今年度の活動をスタートしました。今期も9月下旬に総合防災訓練を実施する予定ですので、地域住民の皆さんの積極的な参加をお願いします。自主防災組織メンバー募集も随時行っています。詳しくは、手賀の杜プラザ1階の自治会デスクにある案内紙面をご覧ください。

平成28年度手賀の杜自主防災スローガン
「日ごろから こえかけあって たすけあい」